



教育・地域貢献ニューズレター

Education & Regional contribution News

古川 隆司 追手門学院大学 社会学部 准教授

学生がリフォームを手伝った施設に 「子ども食堂」誕生 運営にも学生が参画

社会福祉を学んでいる社会学部の古川隆司ゼミの学生らが、4月から大学の近くでスタートする「子ども食堂」の運営に参画することになり、3月29日（水）に「子ども食堂」のプレオープンイベントを開催しました。

「子ども食堂」は、子どもが一人でやってきても気軽に食事ができる場を地域ぐるみで提供する取り組みのことで、今回スタートする「子ども食堂」では小学生以下の子どものみもしくは子どもとその保護者を対象にしています。

3月29日のイベントに参加したのは、古川ゼミの学生ら7名で、学生らは地域の人たちが準備したカレーライスとサラダの配膳を担当しました。午前11時に「子ども食堂」がオープンすると近所の子どもたち約50名が次々と訪れ、友達との会話の楽しみながらカレーライスを食べていました。おかわりも自由で2回、3回とおかわりする子どももいました。

古川ゼミは昨年、茨木市社会福祉協議会が推進している空き家などを活用したコミュニティ施設を整備する事業に参画し、大学に近い耳原（みのはら）地区の建物を地域の交流施設「子民家よってこ」にリフォームする手伝いをしました。

オープンする「子ども食堂」は、この「子民家よってこ」を拠点にします。

来月（4月）から毎月最終火曜日の夕方にオープンし、子ども（小学生以下）だけでなく、保護者も引き続き利用できます。古川ゼミの学生も運営に参画する予定で、イベントに参加した2年の女子学生は「地域の人たちと交流する機会が少なかったのが、新鮮でした。4月からも頑張りたい」と話しています。

茨木市社会福祉協議会によりますと、茨木市内にはNPO法人が実施している子ども食堂が4か所あるということですが、社会福祉協議会で実施するのは初めてだということです。



配膳する学生たち



おかわりする子どもも続出

「子民家よってこ」での「子ども食堂」の概要

と き：毎月最終火曜日の15時～18時

※4月25日、5月30日、6月27日を予定。

と ころ：子民家よってこ（茨木市耳原3-6：耳原児童遊園内）

利 用 料：こども100円、おとな300円

※メニューは食材によって決定